

令和5年度(2023年度) 高等学校等給付奨学生募集要項

1. **主催**
公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部
 2. **後援**
文部科学省
 3. **推薦(応募)資格**
北海道内の高等学校等(高等学校定時制課程、同通信制課程、中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部、高等専門学校、及び本会が特に認める学校を含む)に在学し、北海道内に居住する生徒とする。
 4. **推薦(応募)条件**
修学意欲がありながら、学費等の支払いが特に困難と認められる生徒で、校長の推薦を受けた生徒であること。
生徒・親権者からの申請は受け付けない。他の奨学金との併願は可能。
 5. **募集対象及び募集人数**
 - (1) 募集対象は第1学年(中等教育学校第4学年)、募集人数は100名程度を予定。
 - (2) 1校につき候補者は1名とする。
※ 同一高等学校の全日制課程と定時制課程は、それぞれ候補者1名を推薦できる。
※ 特別支援学校の分校は1校とみなし、候補者1名を推薦できる。
 6. **給付金額及び奨学金送金時期**
 - (1) 30万円又は15万円を100名程度に給付する。返還不要とする。
※ 申請金額は30万円として申請していただきます。
 - (2) 給付金の振込は11月下旬を予定。
 7. **申込(申請、応募)期間**
令和5年9月1日(金)～令和5年10月13日(金) ※消印有効
 8. **提出書類 各1通**
 - (1) 給付奨学生申請書(給奨学様式1)
 - (2) 家庭状況書(支部給奨学様式2)
 - (3) 高等学校等給付奨学生自己推薦書(支部給奨学様式3)
 - (4) 高等学校等給付奨学生推薦書(校長の推薦書)(給奨学様式4)
※ 評定については、高校入学後(1学期または前期)の評価を記入してください。
※ 特別支援学校にあっては、評定平均値(5段階平均)の記載は不要です。
 - (5) 保護者等親権者の収入に関する証明書
※ 源泉徴収票や市区町村発行の所得証明書等いずれも直近のもの(コピー可)
 9. **奨学生の採用決定等**
令和5年10月下旬の教育振興事業選考委員会の審議を経て、北海道支部長が公益財団法人日本教育公務員弘済会(本部)に推薦し、理事長が決定する。
結果については、在籍する学校長を通じて本人に通知する。
 10. **届出事項**
奨学生が、次の事項に該当したときは、給付奨学生又は親権者(身元保証人)は、給付奨学生異動報告書(様式10)を届けるものとする。
 - (1) 給付奨学生が休学、復学、転学、留年、退学、留学したとき
 - (2) 給付奨学生が停学その他の処分を受けたとき
 - (3) 給付奨学生が死亡したとき
 - (4) その他、奨学生の氏名・住所・親権者等の変更があったとき
 11. **給付金の返還**
奨学生が、次の事項のいずれかに該当したときは、既に給付した給付奨学金の全額又は一部を返還するものとする。
 - (1) 奨学金を給付目的以外に使用したとき
 - (2) 虚偽の申請、その他不正な手段によって給付を受けたとき
 - (3) 休学、転学、留年の理由が奨学生として適当でないとき
 - (4) 在学する学校で処分を受け、学籍を失ったとき
 - (5) その他、奨学生として適当でないと判断されたとき
 12. **書類提出先**
〒060-0061
札幌市中央区南1条西8丁目1番地1 クリスタルタワー 12階
公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部
TEL 011-241-9453 FAX 011-241-0756
- ※ **個人情報の取扱いについて**
給付奨学生申請書等にご記入いただいた個人情報は、この事業の運営のためにのみ利用します。

※

決定番号					
決 年 月 日	令和	年	月	日	

給付奨学生申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会理事長 様

公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部長 様

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。

また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し、了承しました。

生 徒	フリガナ			性 別	生 年 月 日	
	氏 名	印		男・女	平成	年 月 日(満 歳)
	学校名	高等学校 高等専門学校 専修学校高等課程 特別支援学校 その他	全日・定時・通信・ 専科・別科・他	令和 年 入学		
			第1学年	令和 年 卒業見込		
親 権 者	フリガナ				性 別	
	氏 名	印			男・女	
	現住所	〒			TEL	()
給付申請 金 額		30万円		そ の 他	親権者の収入に関する証明書(源泉徴収票や市区町村発行の所得証明書等いずれも直近のもの、コピー可)を添付していただきます。	
備 考						

- (注) 1. 生徒欄は奨学生本人が自署してください。
2. 親権者欄は親権者本人が自署してください。なお、申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。
3. 印鑑は、生徒と親権者で、それぞれ別の印鑑を使用してください。
4. 備考欄には、申請にあたっての特別な事情があれば記入してください。
5. 「個人情報の取扱いについて」
- 当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のためにのみ利用します。
 - 当会の個人情報の取扱いについては、当会ホームページ(<https://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。

※印の欄は記入しないでください。

家 庭 状 況 書

秘

令和 年 月 日

生徒	フリガナ		性 別	生 年 月 日		
	氏 名		男・女	平成 年 月 日(満 歳)		
	住 所	〒 TEL ()				
	住宅状況	自宅・学生寮・下宿・親戚宅・知人宅・その他()				
	通学状況	J R・地下鉄・市電・バス・自転車・徒歩・その他()				
親権者	フリガナ		性 別	生 年 月 日	続柄	
	氏 名		男・女	昭和 年 月 日(満 歳)		
	住 所	〒 TEL ()				
年金等の収入		遺 族 年 金	・受けている	・受けていない	年間	円
		生 活 保 護	・受けている	・受けていない	年間	円
		児童扶養手当	・受けている	・受けていない	年間	円
		厚生年金等	・受けている	・受けていない	年間	円

※ 遺族年金、生活保護、児童扶養手当については、必ず受給の有無を○で囲み、受けている年間合計額のおおよそを記入してください。

	続柄	氏 名	年 齢	職 業	年間所得	備 考
家族構成	父				年間 円	
	母				年間 円	
					年間 円	
					年間 円	
					年間 円	
					年間 円	
					年間 円	
					年間 円	

※家族構成欄の記入について

1. 年間所得は、年間のおおよその総額を記入してください。
2. 職業は、おおよその職業がわかるように記入してください。
(公務員、会社員、自営業、パートなど)
3. 備考欄の記入について
 - ① 兄弟の在学している学校名と学年を記入してください。
 - ② その他、家庭状況等について特記すべき事項があれば記入してください。

※「家庭状況書」に記入された個人情報、この事業の運営のためにのみ利用します。

高等学校等給付奨学生自己推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会理事長 様

公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部長 様

学 校 名 _____

氏 名 _____

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。

記

(奨学生自署)

高校生活 について	※あなたは高校生活をどのように過ごしたいと思っているか述べてください。
将 来 に つ い て	※あなたは自分の将来についてどのような道を歩みたいのか述べてください。
奨学金に つ い て	※あなたの現在の学習環境・学校環境が、給付奨学金を受け取ることにより どのように改善されるのか述べてください。

※ 奨学生本人の自署が難しい場合は、親権者等の代筆でも構いません。
その場合、どなたが代筆したか明記してください。

高等学校等給付奨学生推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会理事長 様

公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部長 様

学 校 名 _____

学校住所 〒 _____

校 長 名 _____ 印

下記の生徒を貴会の高等学校等給付奨学生として推薦します。

記

学 年		第 1 学 年	
フリガナ			
氏 名			
フリガナ			
親権者氏名※			
推 薦 理 由	学業について の 所 見		評定平均値(5段階平均) (特別支援学校は記載不要)
	人物について の 所 見		A・B・C (該当するところに○印を)
	家庭について の 所 見		
	そ の 他 特 記 事 項		
担当者 職名・氏名 (推薦書等について、ご回答いただく方)		職 名	担 当 者 氏 名
			電話番号：

※ 申請時の年齢が18歳以上の場合、「親権者欄」は身元保証人について記入してください。
※ 学習の評価は各学校で多様な方法をとっていると承知していますが、高校入学後の成績を5段階に数値化して記入してください。
※ 特別支援学校にあっては、評定平均値（5段階平均）の記載は不要です。
※ 中等教育学校後期課程にあっては、第4学年を第1学年と読み替えることとします。